

特色ある区づくり事業「じゅんさい池みらいプロジェクト」

第6回 じゅんさい池みらい会議 会議概要

開催日時	令和4年1月8日（土）午前10時～11時50分
会 場	東区プラザ 音楽練習室2
出席委員	五十嵐委員、大坂委員、佐藤委員、長谷川委員、服部委員、山中委員、浅野アドバイザー、井上アドバイザー、澤口アドバイザー、高橋アドバイザー
事務局	地域課長ほか同課より3名、区民生活課長ほか同課より1名、建設課長ほか同課より1名
概 要	<p>【報告】 前回会議の振り返り及び本プロジェクトの工程を確認した後、以下の事項に関して事務局より報告しました。</p> <p>○パネル展を通して寄せられた意見、保全活動等に関するアンケート結果 [主な意見] ・オープンハウス等のアンケートで、「税金を使うのならば福祉などに使ってほしい」との意見があったようだが、今後のじゅんさい池の活動や利活用の中で、福祉や教育等と環境保全活動を結び付けるような取り組みを考えることもできるのではないかと。</p> <p>○東池の環境保全活動結果 [主な意見] ・東池の活動で除去できた園芸スイレンの根茎や木枝の量はどのくらいか。 →（事務局）処分施設で計量したところ、500～600kgくらいだった。</p> <p>・ミシシippアカミミガメの駆除作業については、来年度以降行う際は、時期のほか、罟を仕掛ける位置や期間なども研究したうえで実施すべき。</p> <p>○子ども向けリーフレット原稿案について [主な意見] ・子ども向けリーフレットの中で、外来種に関する記述部分はよく検討する必要がある。外来種はどんな点で問題なのか、本質的なことを考えたり気づいたりするような記述である方が望ましいのではないかと。</p> <p>・じゅんさい池公園のシルエットが鍵の形にも見えるので、子ども向けリーフレット内のデザインに取り入れてみてはどうか。</p> <p>・リーフレットは小学校中学年から中学生を対象にしているとのことだが、難易度の程度は良いと思う。すべての情報を詰め込まなくても、児童はタブレット端末を用いて学習しているので、関連のホームページへ誘導するような形でも良い。</p> <p>・リーフレットは各学校等にただ送るだけでなく、例えば、動画とセットで活用してもらおうようにはたらきかけるなど配布方法を工夫すべき。</p>

<p>概 要</p>	<p>【議事】 〔主な意見〕</p> <p><じゅんさい池みらいプラン素案について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゅんさい池の価値について、歴史文化も人がつくったものであり、自然環境は人の暮らしや歴史文化のベースとなるもの。それぞれがバラバラではなくつながっているものだと思う。 ・「SJ-iGs」の読み方は語感が少し気になる。「SJunGs」などはどうか。 ・「SJ-iGs」は視覚的に「じゅんさい池」と伝わるし、「おや？なんだろう？」と気に留めるきっかけになると思うので、この表記でも良いのではないか。 ・今後の環境保全活動について、重機等を用いた業者による作業も検討候補のひとつではあるかもしれないが、湖底をかき回したことでかえって広がってしまった事例などもあるため、環境への影響は慎重に評価すべき。市民の親しみや関わりを深める点でも、市民の手による参加型のプログラムを中心に考えてはどうか。 ・じゅんさい池の価値や魅力は、実際に現地で直接見聞きし触れて感じることで伝わる部分も大きい。現地案内ガイドの仕組みをつくってはどうか。 ・今後ガイドを担う人材を育成していくことも持続可能なあり方をつくるうえで必要になるのではないか。 ・まち歩きの際の参加者は高齢の方が多い傾向がある。学生や親子など、若い世代を対象としたものが定期的に行けるとよい。 ・じゅんさい池の課題の中で、「怖い、気味が悪いイメージ」というのがあるが、逆手にとって、ナイトウォークでの自然観察などの企画も面白いのではないか。 ・プランの考え方や方向性は、じゅんさい池だけでなく、他の潟・湖沼にも共通するものだと思う。プランは東区内にとどめることなく広く周知した方がよい。 <p><環境保全活動等の運営体制について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制づくりを進めるのも難しい部分がある。イメージ図の先には、ロードマップを描いて進めていく必要があるのではないか。 ・SDGsや企業の社会的責任の観点から、企業・団体側にも地域活動や環境保全活動への協力はプラスになる面があるので、一緒に体制をつくっていくような進め方ができるとよい。 ・そのためにも、SNSや動画配信等、ウェブを活用した発信は必要になると思う。 ・ハードルを下げ、区外も含め広く参加しやすい活動を考えるべきだと思う。
------------	---